

大学生が「若者の地元定着促進」を考える —経済学科・山口ゼミでPBL(課題解決型学習)— PBLの一環で行政・企業の実務者から学ぶゲスト講義を実施

熊本学園大学経済学部経済学科・山口泰史准教授(専門:人口地理学)のゼミでは、「若者の地元(県内)定着促進に対する課題解決策の検討」をテーマに研究しています。このたび、同課題に関わる実務担当者から実践的な学びを得ることを目的に、熊本県が推進する『くまもとではたらく』若者の県内定着促進プロジェクトの担当者、Uターン者への奨学金助成プログラムを開発した鹿児島相互信用金庫(同金庫設立の「そうしん地域おこし研究所」)の担当者を迎えたゲスト講義を実施します。

「地方創生」が国や地方の施策の柱となっている今、人口減少や少子高齢化が進む地域で継続的な活性化を図っていくためには、地域を支える若年層は欠かせない存在です。とりわけ、地方圏出身者が、Uターンも含め就職等でどれだけ地元に残留・定着するかは、地域の将来を左右するひとつの指標と考えられています。本ゼミでは、地方圏出身の若年層の人口移動の実態や問題点を経済学的視点から体系的に学びながら、統計データ等の分析を交え考察し、解決策を提案できる力を身につけるPBL(課題解決型学習)を行っています。今回のゲスト講義は、PBLの一環で行うものであり、今後は学生同士のグループディスカッション等を経て、最終回の授業では行政関係者らを招き解決策の提案(プレゼンテーション)を行う予定です。また、この活動は、本学が教育改革・教育の質向上を目的に、その取り組みを支援する事業「クマガクGP」にも採択されています。

よろしければ取材いただきますよう、ご案内申し上げます。

＜経済学科・山口ゼミ 実務者によるゲスト講義＞

- 日 時・
ゲスト 10月24日(木) 熊本県労働雇用政策課
県内雇用推進班 中原 美優 氏
- 10月31日(木) 鹿児島相互信用金庫
そうしん地域おこし研究所 本永 謙介 氏
- ※講義はいずれも13時00分～14時30分(3限目の時間帯)
今後の講義の内容や最終回の解決案プレゼンの日程はあらためてご案内します。
- 場 所 本学14号館4階1444教室(熊本市中央区大江2丁目5-1)
- 履修者 2年生14名

本リリースについてのお問合せ

熊本学園大学 広報室 TEL:096-364-8722(直通) Mail:koho-kgu@kumagaku.ac.jp

熊本学園大学 プレスリリース等メディア情報一覧

<https://www.kumagaku.ac.jp/news/archives/category/media>

